

記入例

【注意】鉛筆や消えるボールペンで記入しないでください。

別記様式第1号(第9条関係)

令和7年度 妙高市要保護及び準要保護児童生徒援助費支給認定申請書

令和 7年 4月18日

妙高市長 宛て

学校へ提出した日

次のとおり妙高市要保護及び準要保護児童生徒援助費の支給の認定を申請します。

		※認定番号	
申請者(保護者)	住所	〒944-8686 妙高市栄町5-1 (電話) 7 2	
	ふりがな氏名	みょうこう たろう 妙高 太郎	
	ふりがな氏名	みょうこう はなこ 妙高 花子	

振込先と裏面の承諾者と同じ保護者にして
ください。
(訂正する際は訂正印をお願いします。
修正ペン等は使用しないでください。)

新井小学校
第5学年

○世帯の状況(児童・生徒を含めて家族全員を記入してください。)

兄弟姉妹がいる場合は、それぞれ
申請が必要です

氏名	続柄	生年月日(4/1現在満年齢)	職業	員会記入欄 所得・課税の状況
1 妙高 太郎	世帯主	昭和54年 5月 2日 (45歳)	〇〇〇(株)(病氣療養中)	
2 妙高 梅子	妻	昭和55年 6月 3日 (44歳)	△△△(有)(パート)	
3 妙高 次郎	子	平成22年 7月 4日 (14歳)	新井中学校3年	
4 妙高 竹子	子	平成23年 8月 5日 (13歳)	新井中学校2年	
5 妙高 花子	子	平成26年 9月 6日 (10歳)	新井中学校1年	
6		4月1日現在の年齢 年 月 日 (歳)		
7		年 月 日 (歳)		
8		月 日 (歳)		
9		月 日 (歳)		

左上の申請者氏名と右下の口座名義人は
同じ保護者にしてください。
※裏面の承諾者氏名も同じ保護者にしてください。

ゆうちょ銀行の店名は
数字三桁になります。
(例:一二八店)

○振込先(申請者の指定口座を記入してください。)

振込口座	金融機関名	種別	口座番号	口座名義人(申請者と同じ人)
	〇〇 銀行 本店 金庫 △△ 支店 農協 店	普通	1 2 3 4 5 6 7	ふりがな 氏名 みょうこう たろう 妙高 太郎

(裏面もご記入ください。)

○住居の形態(該当する番号に○印を付してください。)

1 持 家

② 借 家・アパート等(家賃月額 60,000 円)

○援助を受けたい理由(該当する番号に○印を付してください。)

1・2のどちらかに○(2は金額も記入)

1 現在、生活保護を受けている。

該当する番号に全てに○ ※○が1つもついていないと判定できません。

前年度又は当該年度において、以下のいずれかの措置等を受けたため。

2 生活保護の停止・廃止の措置を受けた。

3 世帯全員が市民税非課税である。(均等割課税がある場合は、非課税ではありません。)

4 市民税、固定資産税の減免措置を受けた。

5 個人事業税の減免措置を受けた。(減免決定通知書の写しを添付してください。)

6 国民年金の掛金の減免措置を受けた。

7 国民健康保険税の減免又は徴収猶予を受けた。

8 児童扶養手当の支給を受けた。

9 生活福祉資金による貸付を受けた。(貸付決定通知書の写しを添付してください。)

⑩ その他(具体的に書いてください。)

父が病氣療養中で、母親のパートでの収入だけでは生活がとても苦しい状態です。

1～9に該当する理由がない場合は、
10に○をつけて、下に理由を書いてください。

(注) (所得を理由にする場合も10に○)

- ・この申請書は、要保護及び準要保護児童生徒援助費の支給を決定するために必要な調書ですので、ありのまま正確に記入してください。
- ・兄弟姉妹がいる場合は、それぞれ申請が必要となります。

※必ず記入のうえ押印してください。

承 諾 書

・私(申請者)は、妙高市の要保護及び準要保護児童生徒援助費の支給の審査のため、私の世帯の住民基本台帳及び所得・課税状況について、妙高市教育委員会が閲覧することを承諾します。

・私(申請者)は、妙高市の要保護及び準要保護児童生徒援助費を学校長の指定する保護者(保護者)に引き継ぎ、その保護及び準要保護児童生徒援助費を支給することを承諾します。

表面の申請者と同じ保護者にしてください。

押印忘れにご注意ください。

(訂正する際は訂正印をお願いします)

令和 7 年 4 月 1 8 日

保護者(保護者)

氏 名 妙高 太郎 (印)

妙高市長 宛て

(注) 令和7年1月1日現在において、妙高市に住所がない方は、前住所地からの令和7年度(令和6年分)の所得・課税証明書を添付してください。

4月の申請時に証明書が発行されない場合は、
証明書のみ6月中旬までに提出してください。